

Withコロナ時代の

災害対策本部の動かし方

(3) 対策班の役割

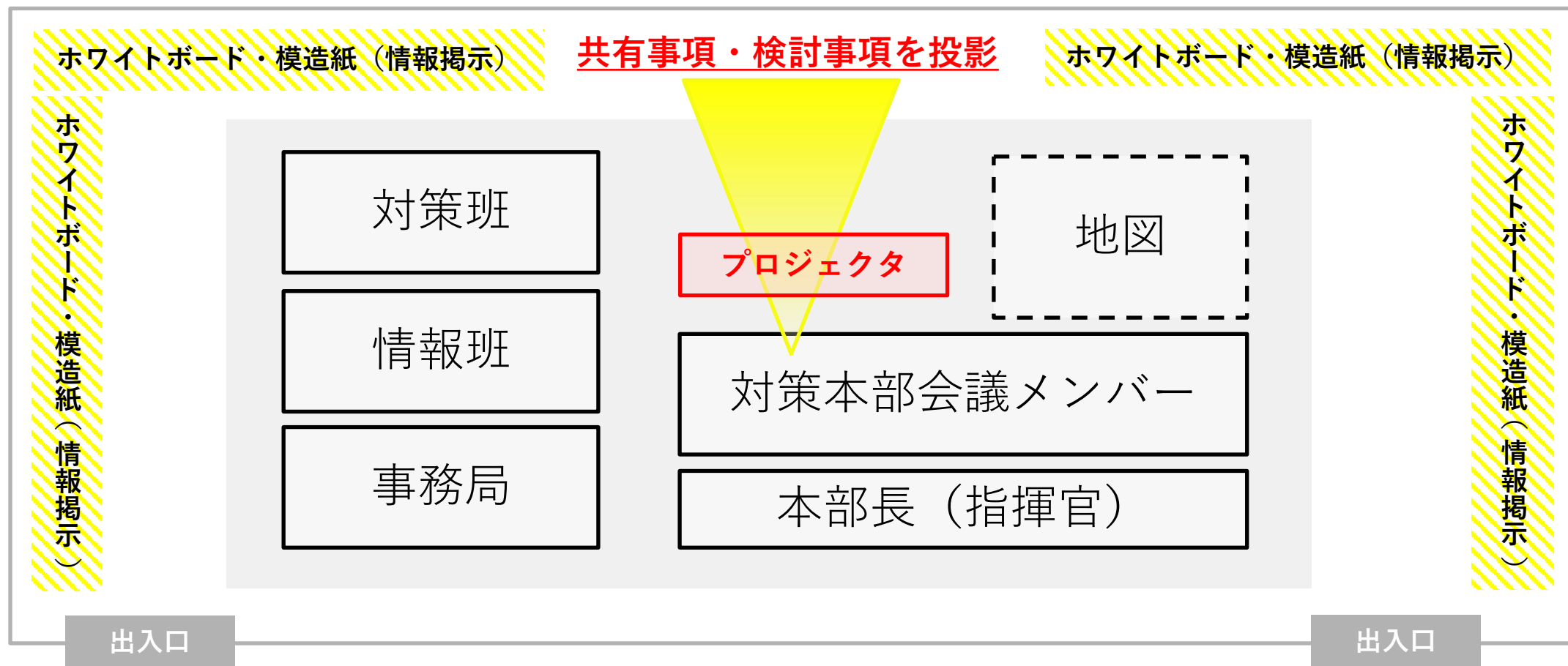


【講師略歴】

WOTA株式会社 総合企画室長 BB.univ 学長 森 健

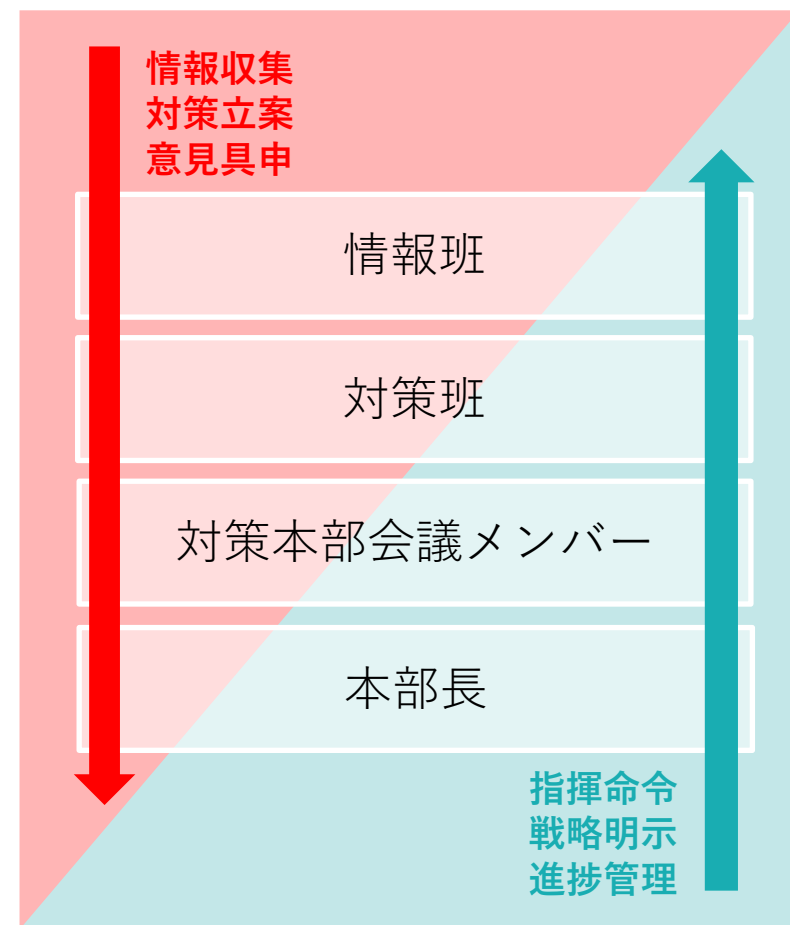
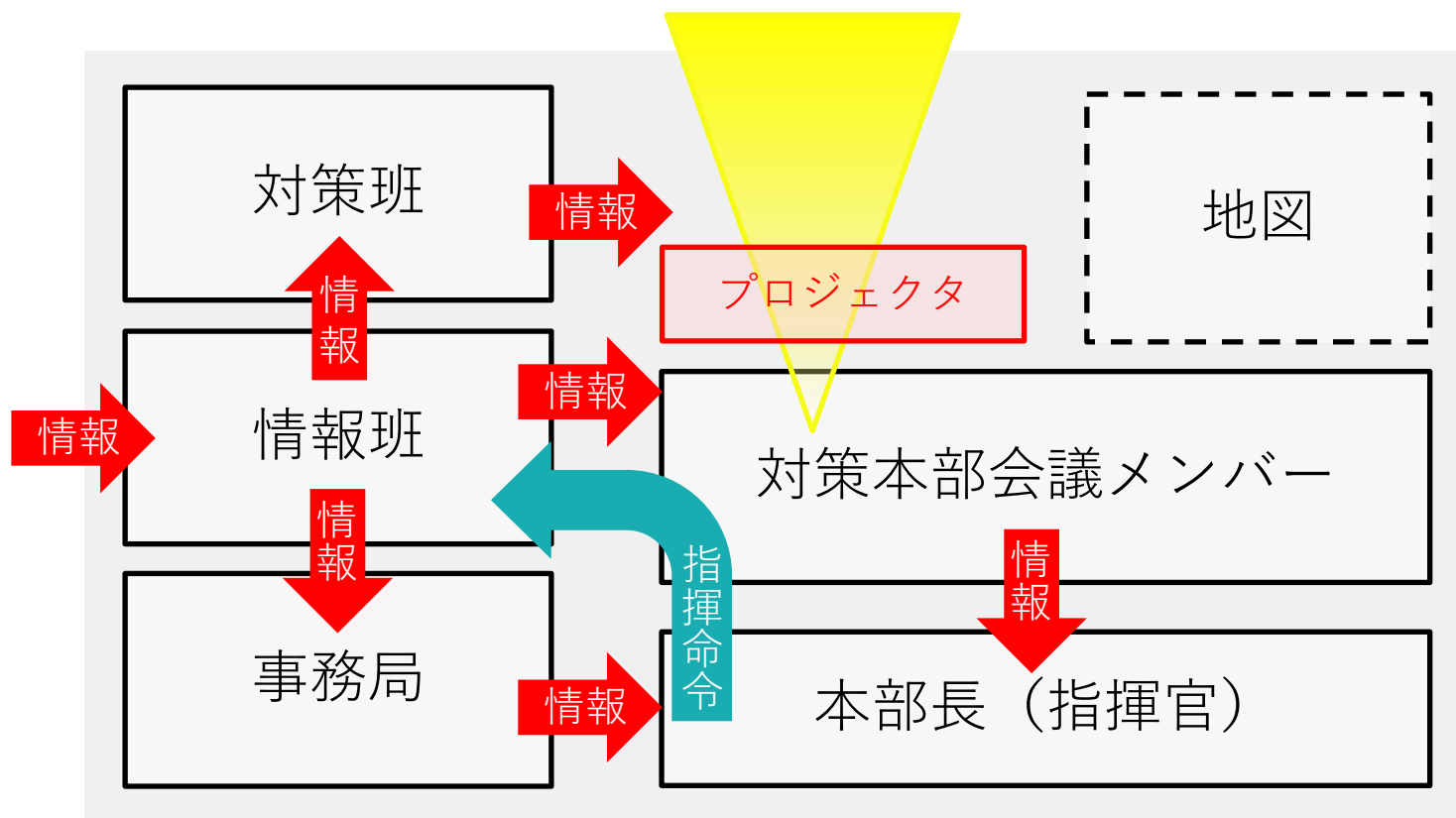
- ・ 1966年東京都出身。開成高校・慶応義塾大学法学部卒業。
- ・ 静岡県下田市役所、静岡県庁防災局出向（現：危機管理部）を含め、約12年間地方自治体で実務経験を積む。その後企業へ転職。
- ・ 自動車部品グローバルメーカーである住友電装株式会社においてグローバルなリスク管理体制の再構築を手掛けるなど、複数社で管理職としてリスク管理・危機管理の指揮をとる。
- ・ 2019年9月よりWOTA株式会社総合企画室長に着任。

対策本部室のレイアウト例



対策本部各班相互の連携例

共有事項・検討事項を投影



【自治体検証事例】災害対策本部における意思決定

実務上の課題例	課題解決の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ● 意思決定について情報分析、対策立案、承認といった区分・役割分担のないまま「全員対応」で対策が立案・決定されてしまう。 ● 情報の整理がなされず全体状況の把握がなく、状況認識の統一が図られない。 ● 全員対応をした結果、「実行結果の確認」がおろそかになる。 ● 課題山積の中、当面の目標や課題解決の優先順位など「戦略」が示されず、議論は長引き、職員は「行動原則の拠り所」を失う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害対策本部においては、「情報分析」「対策立案」「確認・承認」の役割分担を明確にし、俯瞰的な全体状況の把握と、対策内容のヌケモレがないように対策状況の確認を行うことが必要。 2. 災害対策本部は、各班・各支所に対して個々に事細かく指示することは不可能なので、組織全体に対して「戦略＝基本方針」を示す必要がある。

災害対策本部における意思決定で重要なのは、①対策本部内の意思決定プロセスを明確にした上で、事前に役割分担を決めておき、そのとおりに本部運営ができるよう訓練を実施しておくこと、②災害発生後の基本的な状況を予め時系列に整理しておき、段階ごとの戦略を決めておくことである。

対策班の機能強化に関する実務ポイント①

1. 発災前（事前対策の段階）に勝負はついている

- ・ 災害時の対応戦略/対応項目について、時系列に整理し、その考え方に添った図上訓練を実施しておく

【ポイント】

- 地域防災計画/BCPのアップデート（実効性向上）
- 図上訓練の実施（特に本部長と対策班の機能強化）
- 対応準備としての事前対策の進捗管理（委員会活動など）

2. 地域防災計画・BCP・各種マニュアル類の周知徹底

- ・（最低限）管理職層以上には周知徹底しておく

対策班の機能強化に関する実務ポイント②

3. 対策班の役割（≒本部長の役割）を常に意識する

具体的には、災害発生後のフェーズ（段階）に応じた(1) 対応戦略の明示と(2) 個々の対応指示である

段階（経過時間）	対応戦略	個々の対応指示例
第1段階（3時間以内）	初動体制の確立	<ul style="list-style-type: none">・災害対策本部設置（危機管理体制確立）・被害情報の収集・分析と各種初動対応の開始（特に火災、津波への対策、住民避難誘導、避難所開設、救出救護）
第2段階（1日以内）	災害応急対策の開始	<ul style="list-style-type: none">・二次災害防止措置、被害極限措置・避難生活開始に関わる業務（衣食住の確保、供給）・道路その他ライフライン関係施設の応急復旧開始・他団体からの応援受入れ準備
第3段階（3日以内）	被災者への支援強化 行政機能回復へ注力	<ul style="list-style-type: none">・避難生活の安定的継続の支援（入浴、メンタルケアなど）・災害対応の財源確保、各種業務システムの復旧開始
第4段階（2週間以内）	復旧・復興業務本格化 窓地行政機能の回復	<ul style="list-style-type: none">・被災者の生活再建（住宅確保など）、産業の復旧・復興・教育の再開 ・各種窓口業務の再開
第5段階（1ヶ月以内）	行政機能全般の回復	<ul style="list-style-type: none">・行政機能全般の再開、復旧・復興活動の加速

全ての指示・命令事項にwithコロナの視点をプラスする①

- 具体的な指示・命令に「感染予防策を徹底の上」をプラス

「感染予防策を徹底の上、住民避難誘導を開始せよ！」

「感染予防策を徹底の上、避難所を開設せよ！」

※対策本部内、对本部長についても、感染予防策の徹底については例外を設けない。メディアを含む全関係者は本部長の一挙手一投足に注視している。

- 各拠点に対して感染予防策・感染拡大防止策を指示する
(前提として必要な情報の収集を情報班に指示する)

- 医療機関の被災状況を把握し、医療需要の変化も予測

全ての指示・命令事項にwithコロナの視点をプラスする②

- **発災後の危機管理については、一定程度の感染拡大を織り込んで対応する**
 - ・ 初動期よりスプリット・チーム制（2交代制）を積極導入
※長期戦が想定される場合（激甚災害の場合）ほど、
勇気をもって当初より交代制で臨む
（特に「本部長」と「事務局長」が重要ポスト）
- **ボランティア受入れの範囲確定作業がプラスされる**
 - ・ 県内に限定、あるいは隣接県内に限定など根拠をもって範囲を指定する必要がある

対策班長心得

対策班長と事務局長は
本部長の分身である自分自身が
被災・感染しないという
平時からの備えが重要

内容の無断転載を固く禁じます

ご清聴頂きありがとうございました。

アンケートにお答えいただいた方に、本日の資料を配布しております。
今後の情報発信に役立てるためにも、ぜひご協力ください。

